

特集

■ *Isotope News* 800号記念 ノーベル賞対談

■ AI分析！ *Isotope News*の注目ワードで 時代を読み解く

日本アイソトープ協会の会員の広報誌「*Isotope News*」は、1952年7月に当時の団体名称である日本放射性同位元素協会から「協会ニュース」として発行された第1号から数えて800号を迎えた。

ホームページの「会員マイページ」に入ると第1号からすべての冊子の全ページが閲覧可能であるが、特筆すべき記事は「*Isotope News* アーカイブス」として、ホームページからどなたでも見られるようになっている。この中でも光っているのは1972年1月号「新春座談会 湯川秀樹・朝永振一郎（司会 山崎文男）」であり、日本で最初と2番目にノーベル賞を受賞されたお二人が協会と縁が深かったからこそ実現した記事である（司会の山崎氏は当時協会常務理事）。

現在、協会の会長には2008年にノーベル物理学賞を受賞された小林誠先生が就任しておられ、また協会の駒込本部建物内に事務所を構える（公財）仁科記念財団の理事長に、2015年に同賞を受賞された梶田隆章先生がおられるというまたとない幸運をとらえ、お二人に座談会を打診したところご快諾いただくことができた。ノーベル賞対談の第2弾として、期待してお読みいただければ幸いである。

また、70年を超える歴史を有する本誌の記事をもとに、AIも活用してRIと放射線の利用の発展を読み解く試みをした。こちらも是非お読みいただきたい。

Isotope News 編集委員長 上菟 義朋



Isotope News
ライブラリー



Isotope News
アーカイブス